

2015 年春、北陸新幹線は金沢へ。パーマナントコースが近くなる。

「県森林公園(あがたの森)」コース
石川県 No.6 JOA 公認 No.507 5.5km 10
ポスト

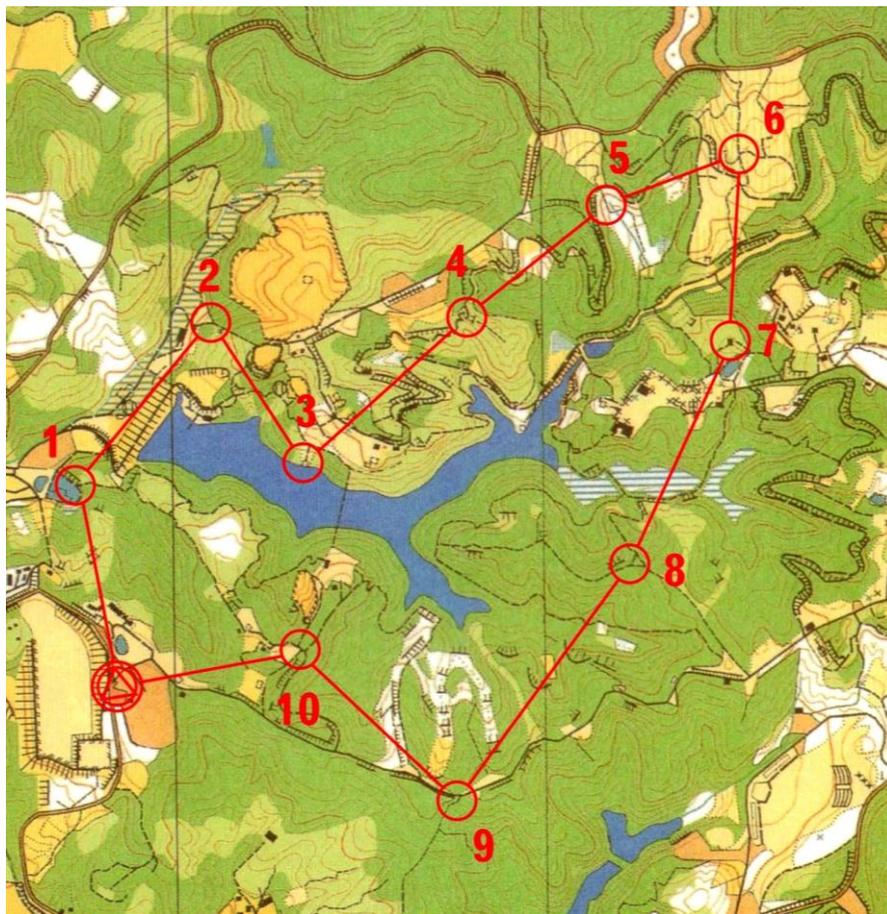
石川県クオリティ

パーマナントコースの運営では全国でトップクラスのノウハウを持つ石川県。古いコースも小まめな整備が施され、いつ回っても最新コースを歩いている気分させてくれるありがたい存在です。コース上の不都合があれば臨機応変に変更がなされ、1度踏破したところでも、しばらくするうちに全く異なるコースに生まれ変わっていることも少なくありません。今回紹介する森林公園コースも2度目の挑戦になりますが、前回のコースからは大幅にリニューアルされています。

記録を紐解くと、コースの誕生は開園から5年後の1978年7月のことで、35年ものあいだ僕たちオリエンティアを楽しませてくれています。私の初挑戦は1995年9月23日。2度目の今回は2013年9月23日と、偶然にもちょうど18年後の日となりました。前回は同じ日に不動寺コースと宇ノ気コースも回り、この日も新しくなった宇ノ気コースと卯辰山コースのトリプル踏破を敢行しています。石川県のコースは距離が短めに設定されていることから、1日に最大何コース回れるかという記録にチャレンジしたい気持ちに駆り立てられます。



スタート地点のわくわく森林ハウス



台風の爪痕

JR 七尾線津幡駅から森林公園行きの町営バスも走っているようですが、移動の効率を考えレンタカーを利用します。スタート地点は以前の森林学習展示館から南東の位置にあたる、インフォメーションセンターわくわく森林ハウスに移されています。

外に立つ案内板に掲示されているマスターも至って鮮明、窓口でも問題なく地図が入手でき、気分がグッと盛り上がったところに、思わぬことを告げられます。8月に襲った台風18号による被害が甚大で、園内随所で土砂崩れが発生しているとのこと。そのため、サイクリングロードは全面通行止めになっており、コースも回れないところがあるはずというお話です。今日回るのであれば十分注意して欲しいと念を押され、無理のない範囲で巡ってみることとしました。

ピカピカのコース

11時27分にスタート。道路から北に下る遊歩道を進むと右手に小さな池が現れます。たくさんのトンボの姿が見られることからトンボ池と名づけられた池には木道も整備され、夏休みの自由研究にでも利用されているでしょう。案内を読むと日本には190種類ものトンボがいるそうで、それだけでもちょっとした驚きです。最初のポストは池の向かい側に堂々と立っています。石川県ではお馴染みの平板タイプです。汚れ1つないピカピカの状態で、いつもの三角形の頭ではなくても嬉しくなります。

第2ポストまでは湿生植物園を経由します。春から初夏の時期であれば花ショウブやアヤメ、水芭蕉などが見られるところですが、あいにく初秋のこの時は見るべきものがありません。芝生広場から遊歩道を東に入ると、ポストは道端に置かれていました。

この先コースは森林動物園に入っていきます。公園内でも最も人の集まる場所のようで、ファミリーで大変な賑わいです。オリエンテーリングでは野生に遭遇したことがある猿とイノシシのエリアをしばらく楽しんでからポストのある加茂池に向かうと、池を背にして立つ第3ポストを発見します。ポスト前ではレジャーシートを広げた団体が陣取っているため、サッと写真を撮って第4ポストに向かいます。

ここからが問題のサイクリングロードです。ひとまず徒歩で行く分には問題なさそうな雰囲気でしたので入ってみることにします。見上げる位置にあるポスト位置までは特に被害の影響はなく、無難に進むことができました。

被害現場を目の当たりにしたのはさらに進んで第5ポストももうすぐというところ。西側斜面が大きな地滑りを起こし、道路を越え、柵を粉砕して流れていった現場に遭遇します。幸い土砂は取り除かれ、道路のアスファルトは元の状態に回復していましたが、柵の復旧はこれからの様子です。通過には支障なく、オニグルミの森と名づけられた林の中にあるポストを確認します。リスの姿の見られ、穏やかな空気に包まれる癒しの空間です。



第6ポストまでのルートも途中に通行止めの柵が設けられています。ポストへのアクセスは問題なく、小道の交点で発見することができました。

沢にくんだり、向かいの丘の上にあるこども広場を目指します。最短経路は遊歩道として整備されておらず、この季節は夏草がまだまだ勢いを保ち、とても入れる状態がありません。加茂池の東端まで迂回するのが賢明です。広場

まで登り、東に向かうと第7ポストのある東屋はもうすぐです。



第7ポスト

ここから第8ポストの先までは心地よい遊歩道をたどります。すれちがう人もなく、パーマネントコースのムードは満点。分岐にあるポストも誇らしげに立っています。

中央林道まで出ると、第9ポストまでは一本道。このコースの最長区間ですが、到達は容易です。

そして、台風の被害を最も大きく受けているのが最終ポストまでのサイクリングロードで、ここは通行不能です。アスファルトが根こそぎ崩落し、大きく断絶しています。この道は回避し、1本西側のつつじの道を選びましょう。崩落した現場を眼下に見ながら進むと、分岐脇のポストに導いてくれます。



第10ポストへの道は台風で崩落

中央林道に戻り、西に向かえば間もなくゴールです。動物園でのんびりした時間も含めて、所要1時間44分というお手軽なコースながら、山野を存分に堪能でき、満足度は十分です。初心者におすすめのコースとしてはこの上ない環境が整っています。

なお、コースを回る際は復旧状況を確認の上おでかけください。

宇ノ気コースから南下しながらめぐっているこの日は、3コース目となる卯辰山めぐりして金沢市街へと向かいます。

夏の面影を色濃く残す山野でも、快適に楽しめるコースが石川県にはたくさん設置されています。2015年春にはいよいよ北陸新幹線の延伸を控え、パーマネントコースファンを待ち受ける態勢は万全です。

(2013年9月23日 踏破)
(大高竜亮)